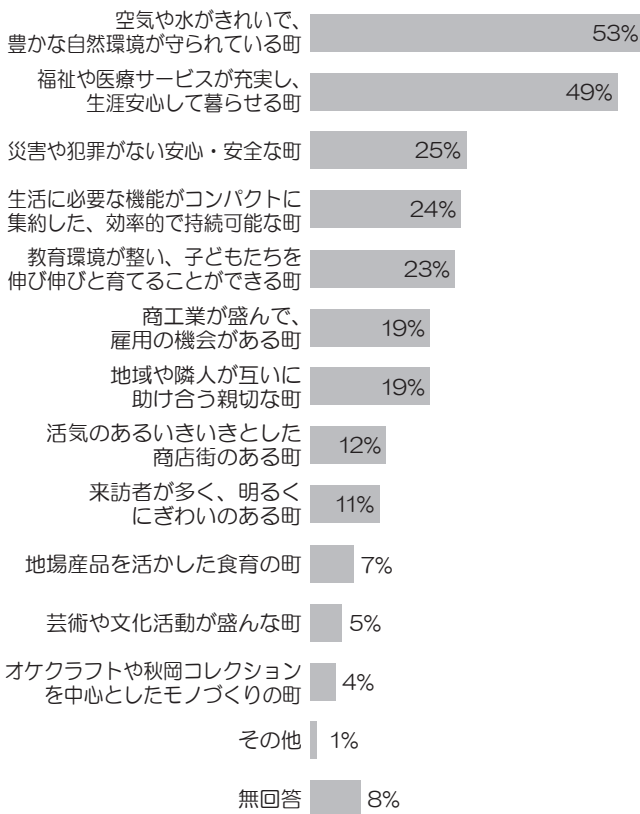


将来のおけとはどんなまち？

将来の置戸町がどのような町であってほしいと思うかとの問いには、「空気や水がきれいで、豊かな自然環境が守られている町」と「福祉や医療サービスが充実し、生涯安心して暮らせる町」の二つが多く選ばれています。10年前の調査結果でも同様の結果となっており、置戸の将来像として多くの方に望まれているといえます。

年代別に見ると、40歳代以下では「教育環境が整い、子どもたちを伸び伸びと育てることができる町」が比較的他の年代より高く、50～60歳代では「生活に必要な機能がコンパクトに集約した、効率的で持続可能な町」の割合も高くなっています。

〈将来どのような町であってほしいと思うか〉



住民参加のまちづくりのために

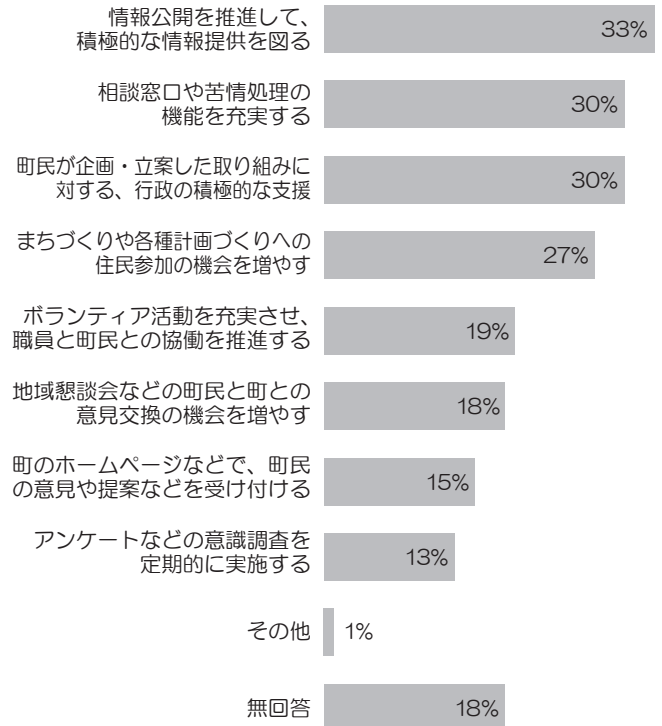
住民参加のまちづくりを進めるためにどのようなことが必要かとの問いには、「情報公開を推進して、積極的な情報提供を図る」が全体で最も多く、次いで「相談窓口や苦情処理の機能を充実する」、「町民が企画・立案した取り組みに対する、行政の積極的な支援」となっています。

年代別に見ると、特に10～20歳代では「町民が企画・立案した取り組みに対する、行政の積極的な支援」が最も高い割合となっており、過去2回開催されたOGFなどのように町民主体の取り組みに対す

る支援への関心が高くなっています。

その他の意見としては、「役場職員の意識改革」や「住民の意識改革」、「オンラインアンケート調査の活用」など多くの意見が上げられています。

〈住民参加のまちづくりを進めるために、どのようなことが必要か〉



まちづくりの提案・意見について

自由記載の欄には、具体的な事業の提案や要望など、多岐にわたって多くの皆さんから貴重なご意見が寄せられました。約200件に上るご意見は、今後の計画づくりの際に都度、振り返りながら参考とさせていただき資料として活用していきます。

いただいたご意見については、各地区公民館や図書館、役場にまとめた冊子を設置しますので、町民の皆さんも閲覧することができます。

今回の調査については、自治会長様をはじめ多くの皆さんにご協力をいただきました。ご協力に深く感謝申し上げます。

町は、平成32年度から10年間のまちづくりの基本となる第6次置戸町総合計画の策定に向けて、総合計画審議会を開催し、現在10人の審議会委員が計画策定の審議を進めています。審議会は来年11月頃、町に答申予定です。

■今回の内容についてお問い合わせは、まちづくり推進室地域振興係（52-3312）まで